

アウトリーチ事業&キャリア支援事業 合同会議 in 東京 「連携を創る、深めるナラティブを考える」

- 日時：2025年3月12日（水）14時00分～17時30分（受付13時45分～）
- 会場：AP日本橋（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F）Cルーム
- 共催：公益財団法人日本国際交流センター、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
- 概要：本会議のキーワードは、「ナラティブ」。社会課題を解決する上で、連携は欠かせないが相手に向かって「すべき論」を語っても、共感は生まれない。むしろ、社会課題についての共感、その解決に向けての手法・方法についての共感を創る、深める「ナラティブ」があってこそ「連携・協力」はアクションとなっていこう。一方で、外国にルーツを持つ人々は国籍も、文化も、来日目的・背景も、年齢も多様であるが、その多様化に対して、「多文化共生」、「就労支援」、「自立支援」、「インクルーシブな地域づくり」といった外国ルーツの人々と暮らす社会の在り方、支援・サービスの在り方についての「語り」はどう変化してきているのだろうか。
そこで、今回の共同会議では、外国ルーツの人々の支援の手法・方法を変えようと、新たに作ろうとするアウトリーチ事業、キャリア支援事業の皆さんと、外国ルーツの人々が急増し、その背景の多様化も進む今だからこそ、行政、企業、NPO・NGO などステークホルダーとの連携を広める上で必要な、共感からアクションを創る、深める「ナラティブ」について考えてみたい。
- 流れ：
 - (1) 趣旨説明+アイスブレイク
 - (2) 対談「私たちが実践した共感を呼び込むためのナラティブづくり」& 質疑応答
登壇者：工藤啓氏（育て上げネット理事長）
松島由佳氏（クロスフィールズ共同創業者、理事）
 - (3) ディスカッション①「これまでの連携をふりかえる」
 - (4) ディスカッション②「今必要な連携の姿、そして今後必要な連携の姿」
 - (5) ふりかえり
- グループ・ディスカッションの狙い
午前のキャリア支援、アウトリーチそれぞれの会議ではプログラムの組み立て方、出口戦略という「自団体」における戦略、アクションプランを具体化する議論を行った。それらが「単体」の動きにとどまらないようにするために、どのような戦略、アクションプランが必要だろうか。移民・外国人を取り巻く課題、目指す社会の姿を、「私の語り」（自団体のナラティブ）だけでなく、社会のステークホルダーを練り込んだ私たちが主語とする「私たちの物語」として、どう創造できるかを具体化してみる。